

2024年度入学試験問題

推薦・社会人

国語

- 1. 問題冊子は試験開始の合図があるまで開かないで下さい。
- 2. 問題は全部で10ページです。脱落のあった場合はただちに申し出て下さい。
- 3. 解答は、すべてマークシート用紙の指定された箇所に鉛筆でしっかり濃く記入して下さい。

マーク例

良い例		悪い例			
-----	---	-----	---	---	---

- 4. 無マークまたは複数マークの場合は0点となります。
- 5. 間違った場合には消しゴムできれいに消して下さい。
- 6. マークシート用紙には、氏名と「番号欄」には0から始まる4桁の受験番号を右詰めで記入、「番号マーク欄」には受験番号をマークして下さい。年月日、学年、クラスには何も記入しないで下さい。

例) 受験番号が「 0 1 2 3 」の場合

学年	クラス	番 号							
						0	1	2	3
0	0	0	0	0	0		0	0	0
1	1	1	1	1	1	1		1	1
2	2	2	2	2	2	2	2		2
3	3	3	3	3	3	3	3	3	
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

二〇二四年度入学試験問題推薦・社会人 国語

一次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

AIは膨大なデータをきわめて高速に処理できるコンピュータ上で動作しているプログラムである。コンピュータと脳は、構造についても、またそこを流れる信号についても、まったく性質が異なっている。コンピュータ上のプログラムであるAIの動作が、脳の動作を解明する上でまったく参考にならないことは明らかである。

たしかにAIは多くの場面で人にとって代わり、また人の能力を凌駕^{りやうが}しつつある。しかしそのことは、すべての面で人の能力を超えていくことを意味しない。AIは特定の場面でのみ使える能力しかもたないからである。当時、世界最強の囲碁棋士であったイ・セドル九段を破ったAI「アルファ碁」は、囲碁以外は何もできない。一方、イ・セドルは、料理もし、小説も読み、映画も楽しめる。AIの高性能化は、専用システムとしての高性能化にすぎない。そして高性能化とはうらはらに、AIの脆弱性^{ぜいじやく}と危険性が次第に指摘されるようになってきた。

現在のAIが得意とする分野の一つが画像認識である。ディープラーニングとコンピュータの高速化が相まって、過去の膨大なデータを検索し比較することで、人が見逃してしまうような些細^{ささい}な画像の変化を^⑦ソクに検出できるようになった。しかし同時に、人の認識にはまったく影響しない些細なノイズが混ざるだけで、非常に不可解な回答を出してしまうことが、(a) 報告されている。

(b)、交通標識を認識する際、「止まれ」と書かれた標識の一部に小さなシールを貼るだけで、AIは「時速45キロメートル制限」というまったく異なる標識と判断した。

(c)、道路を横切る人と風で飛ばされてきたポリ袋を区別できなかったこともあるという。また、画像全体に人にはほとんどわからないようなノイズを重ねるだけで、まったく違う画像であると回答することもある。

このようなミス、つまり誤認自体、大きな問題であるが、さらに大きな問題はAIがなぜ誤認したのかとい

う理由が、なかなかわからないことである。計算方法もプログラムも人が開発したものであるから、どこに原因があるのかすぐにわかると思いがちであるが、そうではない。

(d) プログラムにより実行されるプロセスを^①タンネンに追うことは可能である。しかし、コンピュータの性能の向上を最大限活用し、膨大なデータを膨大な計算で処理することができるようになった結果、そこで計算され処理される膨大な量の数字を人が追えなくなっており、どこの計算結果が悪かったのかわからないのである。そしてこのことは、AIのミス、つまり、もとは人がつくったプログラムのミスを^②カイヒする方法もわからないことを意味する。

現在、インターネット上で共有されているプログラムを利用し、リモートでAIをだます方法（アルゴリズム）がいろいろと考案されており、実際、多方面でAIを混乱させている。

（中略）

いつかAIが特定の課題専用のシステムではなく万能のシステムになり、心ももちうると主張する人たちが好む言葉がシンギュラリティ（技術的特異点）である。これは、技術が果てしなく進歩するという考え方であり、AIが進歩すると、その進歩したAIがさらに優れたAIをつくり、それがさらに優れたAIをつくるということを繰り返すことで、現在では予想もできないスーパーAIができると考える。しかし、それでもAIがコンピュータという機械で動作するプログラムであることは変わらないであろうし、(e) 技術の進展が永遠に続くという発想にも無理がある。どんな技術にも制限があり、実際、コンピュータの処理能力はそろそろ限界に近付きつつあり、論理演算からなるプログラムがプログラム以上の何かになるとは考えにくい。

いつか高性能なAIを^③トウサイした高性能なコンピュータがヒトの脳を完全にコピーし、その内容、つまり心を読み出してコンピュータ上にダウンロードできるようになるという予想もある。あるいは、心を読み出してコンピュータに移し、それを他者の脳にインプットすることで、言葉を介さずに人と人が直接コミュニケーションをとれるようになるという予想もある。しかし、これらはとてもありそうにない。

I たしかにキアヌ・リーヴスが主演したSF映画の大傑作「マトリックス」では、そのような未来が描かれていた。しかし、それは映画の世界だけである。数字や数学は、

ショ[㊦] セン[㊦]人が考え出した方法であり、自然界には、人の行動も含め、数式で忠実に記述できない現象は山ほどある。脳の中で起きているアナログ的で超複雑な現象もまたそこから生まれる心も、^Aそのような現象の一つであると考えるべきである。

今心配すべきことは、AIが人になることや、AIによる人の支配ではなく、この便利な道具のプログラムミスであり、すでに問題となっているその誤用と悪用である。

(櫻井芳雄『まちがえる脳』)

問1 傍線部⑦㊦に相当する漢字を含むものを、次の各群の①㊦⑤のうちから、それぞれ一つずつ選べ。

解答番号は 1 5。

㊦ ジンソク

- ① 学問にショウジン[㊦]する
- ② 実現にジンリョク[㊦]する
- ③ ジンリン[㊦]にもとる行為
- ④ センジン[㊦]の谷
- ⑤ 獅子^しフンジン[㊦]の勢い

① タンネン

- ① タンドク[㊦]行動
- ② タンゴ[㊦]の節句
- ③ タンチョウ[㊦]鶴
- ④ レイタン[㊦]な返事
- ⑤ 失恋してラクタン[㊦]した

㊦
カイヒ

- ① コウカイ先に立たず
- ② 子供にムリカイな親
- ③ フユカイなメール
- ④ カイコ録
- ⑤ カイコ趣味

㊧
トウサイ

- ① トウジョウ券
- ② トウソツ力
- ③ トウジョウ人物
- ④ コウトウ試問
- ⑤ 用意シユウトウ

㊨
ショセン

- ① センケンの明
- ② センボウの的
- ③ ドクセン禁止法
- ④ センザイ意識
- ⑤ 厳しくセンギする

問2 空欄（ a ）（ e ）に該当する語を、次の①～⑤のうちからそれぞれ選べ。

解答番号は 6 ～ 10。

- ① そもそも
- ② しばしば
- ③ たしかに
- ④ たとえば
- ⑤ あるいは

問3 空欄

I

に入る最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号は 11。

- ① ヒトの脳の神経回路の構造は常に変化しており、そこでは非常に不確実で確率的な信号伝達が行われているからである。
- ② 脳は人が考え得るような精密機械ではなく、その複雑性と多様性から、脳の信号伝達はまちがいにアナログ的であることがよくわかるからである。
- ③ コンピュータがヒトの脳をコピーするということは、ヒトの脳の配線図を電子回路で再現できるということにほかならないからである。
- ④ もし、心がコンピュータ上に移せるとすれば、それは心がコンピュータで計算できるデジタルデータ、つまり数列、関数、数式等ですべて記述できるということを意味するからである。
- ⑤ 空を飛ぶ飛行機をつくっても、それが、鳥が空を飛ぶメカニズムを明らかにしたわけではないのと同じだからである。

問4 傍線部A「そのような現象」とは何か。次の①～⑤のうちから最も適当なものを一つ選べ。

解答番号は 12。

- ① 脳の中で起きているアナログ的で超複雑な現象
- ② 脳から生じているにもかかわらず、心が脳の活動を制御できる現象
- ③ 自然界にある、数式で忠実に記述できない現象
- ④ 自然界の法則をこえた超常現象
- ⑤ 自然界の厳しい摂理

二 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

ひとつのことは、a に使われる中で自然に習得される。典型的な環境に生まれた赤ん坊は母親をはじめとした養育者との関わり合いのなかからことばを習得していき、1歳の誕生日を迎えるまえに、指さしをはじめ、養育者にメッセージを発しはじめる。そのあと、「ママ」や「マンマ」のような初語を発し、次第に「ことば」を使うようになっていく。

b な養育者とのやりとりは、次第に複雑化する。私の子が3歳頃のビデオに、私が「パパがおもち買ってきてくれると良いねえ」というと、子は「Fちゃん、おもちすき」と答えるという会話があった。子どもは「うん」とも言わず、自分の好みを語っている。自分の好み（もちが好き）をいえば、希望の食べ物が出てくると思っているのは、どういう仕組みなのだろうか。

私たちは又断るときもc に話している。3歳のFちゃんは、残っている甘いおもち（わらび餅）を指さして、「Fちゃん、おもちが好きなの」という。それに対して私が「このおもちはパパのだからね」と答えると「はーい」と返事が返ってくる。この会話は一足飛びである。「おもちが好き」は、ただの心の状態を示すだけでなく、そのおもちが食べたい、食べてもいいかというリクエストを含んでいる。それに対して、私は「パパのだから」と理由を言うことで、「Fちゃんにはあげられない」ことを含意し、リクエストを断っている。子どもはその含意を捉えて「はーい」と返事をしたことで、余ったおもちはパパが食べるので、自分のリクエストは⑦ キャツカされたと理解したことを示している。

こうしたやりとりは日常茶飯事だ。意図をできるだけ明示して意志確認のためにことばを使うなら「この残っているおもちはFちゃんが食べてもよいですか」「いいえ、だめです。なぜならこれは、パパがあとで食べるからです」というやりとりのほうが、正確に確認できるだろう。 A しかし私たちは、このような言語使用をあまりしないものだ。

日本の有名な落語に「まんじゅう怖い」がある。ある男が「まんじゅうが怖い」というと、それを聞いた仲

間達は嫌がらせにまんじゅうをたくさん渡す。ところが実際は、この男、大のまんじゅう好きで、嫌がらせをしようとしている仲間達にイッパイ^①食わせ、まんまと好物をせしめるという話である。

京都の話として、隣人に「ぼっちゃんピアノ上手にならりましたなあ」といわれるというものがある。隣人からそう言われたら、どう反応するのが正しいのだろうか。京都の文化についてステレオタイプ（典型的なイメージ）を持っていない学生に聞くと、褒められてうれしいので「ありがとう」と言うだろうと解釈する。しかし、京都でこれを言われたら、《α》「すみません、うるさかったですか」が正解である、というのがステレオタイプである。本当に褒められているのかもしれないが、まず謝っておくのが^②シヨセイ術である。ここで隣人がゲン^③キウウしているのはピアノの腕なのだが、発している真のメッセージは「坊ちゃんピアノがうちまで聞こえてくる」（だから良し悪しが判断できる）である。これは裏のメッセージを伝える（i）表現なのだが、相手が真のメッセージに気づかなくても体面が保てるという意味で、よくできている。一方で、それを言われた側は「この人はなぜこんなことを言ってくるのだろう」と考え、相手がそのタイミングでそれを言うてくる理由を察知し、《β》に謝罪を返すのが、このやりとりの文化の^④イシズエとなっている。

相手がどんな意図を持っているのかを読みとって、「まんじゅう怖い」といって逆手がとれたり、ただ子どものお稽古事を褒めたと見せかけて、実は謝罪と対応を要求しているという意図を読んで応答しなければならなかったりする。つまり私たちのことばのやりとりは、お互いの意図を読み合う（ii）能力に支えられているのである。

（高嶋由布子「語用論」）

問1 傍線部㉑、㉒に相当する漢字と同じ部首を持つものを、次の①～⑤のうちからそれぞれ選べ。

解答番号は 13 ～ 17。

- ① 即 ② 久 ③ 机 ④ 確 ⑤ 凡

問2 空欄 a ～ c に該当する語を、次の①～⑤のうちからそれぞれ選べ。

解答番号は 18 ～ 20。

- ① 論理的 ② 原初的 ③ 間接的 ④ 一般的 ⑤ 倫理的

問3 傍線部A「しかし私たちは、このような言語使用をあまりしないものだ」とあるが、それはなぜか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

解答番号は 21。

- ① 相手との関係を損なわず、人間関係をよりよく保つため
② 私たちは、ことばの意味よりもその場の雰囲気大切にするため
③ 簡潔すぎる言語使用は、かえって相手に失礼だから
④ 相手の理解度によって、ことばを変える必要があるから
⑤ 言語使用には、長年の経験と実績が必要だから

問4 空欄《 α 》、《 β 》に該当する語を、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ選べ。

解答番号は 22、23。

《 α 》

①十年一日

②十中八九

③十人十色

④百發百中

⑤四六時中

《 β 》

①臨機応変

②融通無碍むげ

③一氣呵成かせい

④當意即妙

⑤是々否々

問5 空欄（ i ）（ ii ）に該当する語を、次の①～⑤のうちからそれぞれ選べ。

解答番号は 24、25。

① 協調

② 曖昧

③ 婉曲えんきよく

④ 説諭

⑤ 推論